

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ハッピーテラス水戸おさえん通り教室					公表日 2025年2月17日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	2	訓練室の広さに差があるため、活動内容に合わせて使い分けている。	トレーニング中に隣の利用者の声が聞こえてしまい、集中が途切れてしまう事がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0	基準人員を満たす配置が出来ている。個別療育のため、1対1の対応を基本としているが、必要に応じて職員の配置数を増やしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	2	パーティションを使って空間を分けている。トイレ前にスロープを設けて段差のない構造にしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	毎日の掃除・換気を必ず行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	1	基本的には、利用者1人に対し1部屋となっている為、落ち着ける環境にある。	同時刻に3人のトレーニングがあると、部屋を個別に使用することは難しい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	毎朝の申し送りや月1回の会議で業務について話す時間を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	年1回の保護者アンケートにより、業務改善を図っている。保護者の意向は職員会議にて話し合い、可能な限り業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	本部による定期評価は実施している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	本部開催の研修や、県や市の研修へ積極的に参加している。法人内でも勉強会を開催し、スキル向上に努めている。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0	相談室・玄関に掲示している。ホームページにも掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	0	トレーニング後のフィードバックや保護者面談を通して課題・ニーズを把握している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	ケース会議にて、情報の共有を必ず行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	トレーニングの考案をする際には、支援計画を確認しながら進めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	日誌や朝の引き継ぎを通して職員全体で確認をしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	2	基本的にはトレーニングを担当する職員が立案をしているが、適宜職員間で相談をしながら進めている。	

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	固定化を防ぐためにも、同じ職員が連続してトレーニングに入らないよう、可能な範囲で調整をしている。また、トレーニング内容が固定化しないよう日誌を見直ししながら立案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	0	保護者に了承を得られた際には、就学準備コースとして小集団を実施している。	同時刻のトレーニングに、年齢の近い利用者がいない時には、小集団を実施することが難しい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	小集団の際には必ず共有の時間を設け、連携を図っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	翌日に申し送りを行い、前日のトレーニングの共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	日々のトレーニングを必ず記録として残し、見返せるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	児発管だけでなく、必要に応じてその他職員も参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	保護者からの要望や必要に応じて、利用者の通っている幼稚園や保育園等を訪問し、相互理解に努めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	保護者からの要望や必要に応じて、情報共有をする機会を設けている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	3		今後活動の機会を設けていけるよう検討中。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	トレーニング後のフィードバックにて共通理解を図っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2		家族等が参加できるイベントを検討中。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	体験やご契約時に丁寧に説明するようにしている。不明点等があれば、その都度対応している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	0	計画を作成後、内容について詳しく説明をして、納得いただいた上で同意を得ている。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	トレーニング後のフィードバックだけでなく、面談の機会を設けて対応するよう努めている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	3		実施に向けて検討中。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	可能な限り希望に添えるよう対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	2	LINEを使って空き情報の共有を行っている。	Instagramの開始を検討中。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	鍵付きの棚に保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2		
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	1	全て策定し、訓練も実施している。保護者へは契約時に周知している。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	年に2回、防災訓練を実施している。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0	契約時に、保護者から直接情報共有してもらい、全職員へ周知している。	
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0	食事の提供無し。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	安全計画を作成し、研修も行っている。	
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	玄関に掲示している。	
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	その都度作成し、共有・検討を行っている。	
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	3か月に1度、職員間で研修を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0	現在、対象となる利用者はいないが、今後必要に応じて適切な対応をしていく。		